

ABI/PWV (血圧脈波検査)

なにがわかるの？

血管は加齢とともに誰でも硬化していきます。しかし、高血圧、高脂血症、糖尿病などの患者さまはその進行が速くなってきます。両手足の血圧を測り、その比を計算して動脈硬化の状態を調べる検査です。

ABI(足関節上腕血圧比)は、腕と足首との血圧の比によって、下肢の大動脈の狭窄や閉塞の程度がわかります。

PWV(脈波伝播速度)は、心臓から伝わる拍動の速さを測ることによって、動脈が硬くなっていないか、血管の壁が厚くなっていないかがわかります。

どんなことをするの？

腕、足首が出るようにしてベッドに仰向けに寝ます。両腕と両足首にカフを巻いて、同時に血圧を測ります。同時に心電図と心音図も記録します。測定は2回行います。動脈硬化が強い時などはさらに測定することもあります。

所要時間は？

10～15分程度です。



おねがい

両腕、両足首の血圧を同時に測るので、カフがきつくまります。もし痛くて、我慢できないときはおっしゃって下さい。

次のような方は検査をお勧めします

喫煙



肥満



糖尿病



高血圧

高脂血症



冷感・しびれ感

